

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番 号	6	事業名	都市公園事業	路線又は箇所名等	長生の森公園						
事業所管課	公園緑地課		事業主体			千葉県					
事業化年度	H5		用地着手年度	H5	工事着手年度	H8	再評価の理由	再々評価	工事終了(認可)年度	R11	
費用便益比 B/C	1.3 (1.1)	総費用	344.9 億円 (17.0 億円)		総便益	451.8 億円 (18.3 億円)			基準年	R4	供用開始 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

本公園は茂原市の市街地から北西約2.5kmに位置し、「人間・スポーツ・環境」をテーマとし、山武・長生・夷隅地域のスポーツ・レクリエーション活動の中心的な役割を担う他、災害時の広域防災拠点などの防災機能も併せ持つ、計画面積48.2haの広域公園として整備するものである。公園南側は野球場などの運動施設を配置したスポーツゾーン、公園北側には豊かな自然環境を活かし、多様なレクリエーション活動に対応した多目的広場ゾーンや体験広場ゾーンなどにより構成されている。

【事業の進捗状況】(令和4年度末見込み)

用地買収は、平成5年度から着手し、買収が難航している4筆を除き、取得を終えている。公園整備は、平成8年度から工事に着手し、公園南側の野球場、庭球場、ゲートボール場などの10.2haを平成16年度までに供用している。また、多目的ゾーンを中心とする公園北側については平成20年度から工事に着手し、平成31年度に多目的広場や駐車場などの2.3haの供用を開始した。

	全体計画	投資事業費	進捗率
総事業費	156.3 億円	137.8 億円	88.2%
うち用地費	67.5 億円	67.4 億円	99.9%
うち工事費	88.8 億円	70.4 億円	79.3%

【社会経済情勢等】

- 『千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～』において、良好な都市環境の保全、スポーツ・レクリエーションや防災など多様な機能を有する公園として、整備を推進することが位置付けられている。
- 大規模災害発生時に必要な施設の整備が求められており、県及び茂原市において、それぞれ広域防災拠点、広域避難場所として指定されている。  
当県において甚大な被害をもたらした令和元年台風や大雨等、近年頻発する激甚災害を踏まえ、本公園の役割が、増々重要となっている。
- 平成25年に圏央道が開通したことに加え、令和2年に茂原長柄スマートICが開通し、広域からのアクセス性が向上した。
- コロナ禍を契機に、日常生活と感染拡大防止対策を両立していくための「新しい生活様式（ニューノーマル）」の実践にあたり、オープンスペースの重要性が再認識されているが、山武・長生・夷隅地域の一人当たりの公園面積は、5.68㎡/人で県平均値（7.17㎡/人）を下回っている。
- 地元茂原市や利用者からも未供用区域における早期整備が望まれている。

【対応方針（案）】

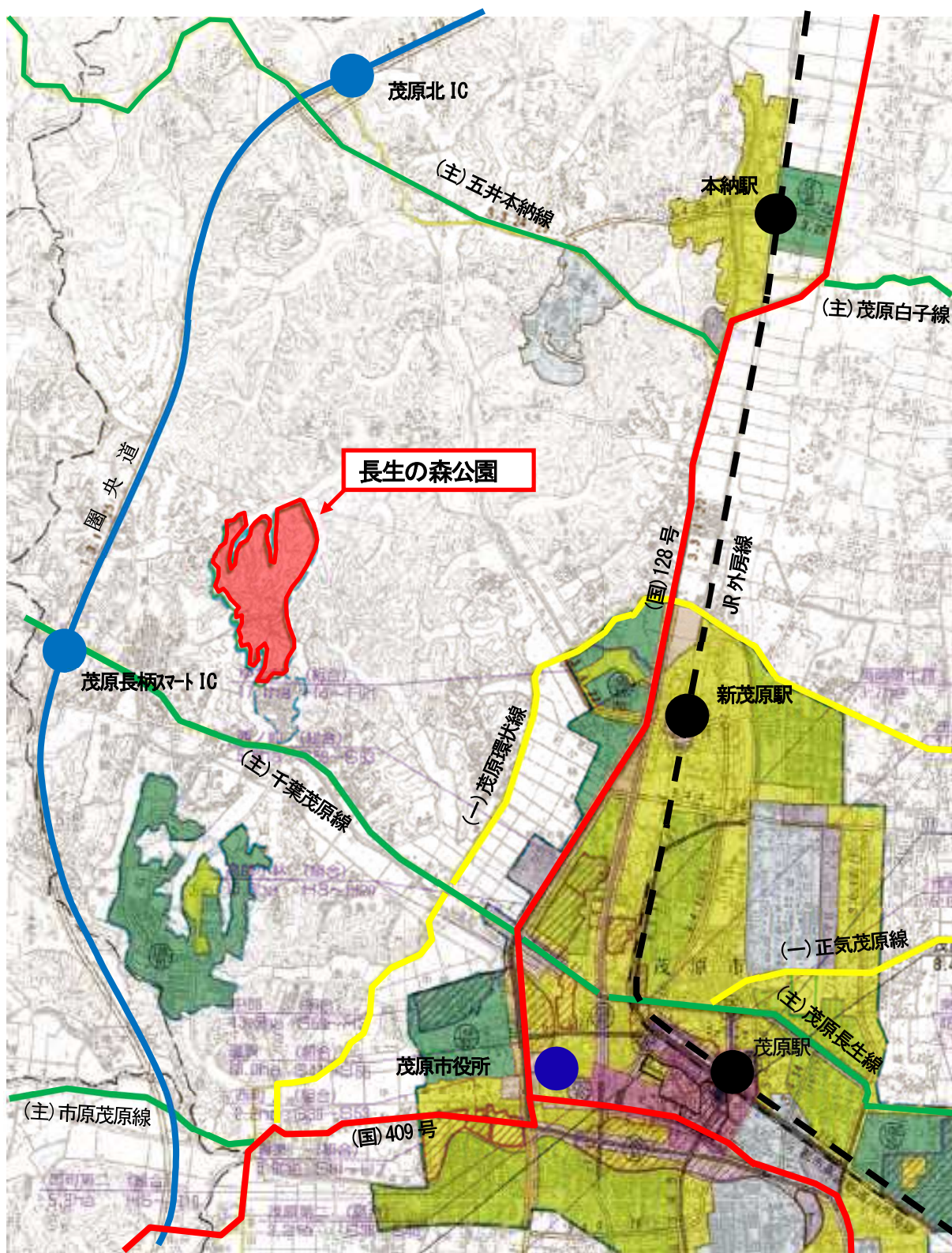
- 広域防災拠点や広域避難場所に指定されており、地域防災計画上重要な公園であること。
- 茂原長柄スマートICの開通により、公園へのアクセスがさらに向上し、より広域的な集客効果が見込め、公園利用者の増加が期待できること。
- 上位計画への位置付けや、地元からの早期完成の要望がある状況において、多目的広場ゾーンを中心とした、自然環境豊かな公園北側が完成することにより、既に供用されている公園南側のスポーツゾーンと併せ、コロナ禍における「新しい生活様式（ニューノーマル）」等、多様なニーズに対応できること。
- 公園北側の体験広場や、芝生広場において、緑豊かな自然環境を生かした魅力ある施設整備のために、民間活力導入を進めていくこと。

以上のことから、公園整備の必要性が高いことに加え、用地買収もほぼ完了しており、費用便益比も1.3と費用対効果があることから、今後も事業を継続することとしたい。

【別紙様式 4】

事業概要図

番号	事業名	防災・安全交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
----	-----	------------	----------	--------



- 【凡例】
- : 自動車専用道路
  - : 一般国道
  - : 主要地方道
  - : 一般県道
  - - : 鉄道

事業概要図



【別紙様式 5】

再評価事業に関する調書

番号	事業名	防災・安全交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園	
事業化年度	H5 年度	用地着手年度	H5 年度	工事着手年度	H8 年度
<b>【再評価の概要】</b>					
再評価実施年度 (基準年)	H29 年度	供用開始年度	H14 年度	対応方針	継続
B/C	1.3	総費用	263.5 億円	総便益	344.4 億円
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況		5 年後の想定進捗状況	
全体事業費	140.7 億円	125.2 億円 (89.0%)		140.7 億円 (100.0%)	
用地取得面積	48.2ha	47.7ha (99.0%)		48.2ha (100.0%)	
供用面積 (延長)	48.2ha	10.2ha (21.2%)		48.2ha (100.0%)	
<b>【再々評価の概要】</b>					
再々評価実施年度 (基準年)	R4 年度	供用開始年度	H14 年度	対応方針	継続
B/C	1.3	総費用	344.9 億円	総便益	451.8 億円
現在の進捗状況 (令和 4 年度末見込み)					
	計 画	進捗状況			
全体事業費	156.3 億円	137.8 億円 (88.2%)			
用地取得面積	48.2ha	47.7ha (99.0%)			
供用面積 (延長)	48.2ha	12.5ha (25.9%)			
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 事業再評価 事業計画の変更認可</li> <li>・平成 31 年度 多目的広場等供用開始 (北側の一部)</li> <li>・令和 4 年度 事業再々評価 事業計画の変更認可</li> <li>・令和 11 年度 事業完了 (予定)</li> <li>・令和 12 年度 全体供用開始 (予定)</li> </ul>				